

感染症情報 6月9日～15日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,136例(堺市	58例)
②伝染性紅斑	400例(堺市	43例)
③溶連菌感染症	368例(堺市	38例)
④咽頭結膜熱	182例(堺市	8例)
⑤手足口病	99例(堺市	10例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	47例(堺市	4例)
---------	--------	-----

報告数による順位。前週比5.7%減の2,406件であった。感染性胃腸炎は府下で前週から10%減、堺市で前週70例→今回58例。伝染性紅斑が府下で1%増、堺市で前週39例→今回43例。溶連菌感染症が府下で11%減、堺市で前週57例→今回38例。咽頭結膜熱が府下で9%減、堺市で前週23例→今回8例であった。手足口病が府下で60%増、堺市で前週3例→今回10例であった。

インフルエンザが府下で前週71例→今回47例は34%減。堺市は前週7例→今回とも4例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で95例→89例は6%減、堺市は2例→3例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,615例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	314例(堺市	29例)	
大阪府定点	1.08	堺市定点	1.16

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で20%増、定点当たり0.90→1.08。堺市で26例→29例、定点当たり1.04→1.16。

府下292医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 11, 152例(堺市 988例)			
大阪府定点 38. 19		堺市定点 39. 52	

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より5%減、定点当たり40.12→38.19、堺市で前回より14%減、定点当たり46.12→39.52であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。